

産禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・産禅洞診療所

● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談

診 察 日：月曜・木曜・金曜

受付時間：9:00~12:00、

〒502-0017 岐阜市長良雄越878-16

IP Tel:058-295-9545

FAX:058-296-3903

E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp

http://zazendoh.town-web.net/

第129号 2014.12.1.

毎月1回発行 産禅洞診療所 松井英介

命を大事にする意識

いかに、産む、すくすく社会をつくるかを示しては

経済成長は難しいという程度です。それは
ハンジに書かれているが、五十年先を予測して
語ってほしい。胎児を産む準備が済んだら、
事故はいつかあるか。集団的自衛権の行使を
認めるには、自衛隊の命をどう考えている
のか。私は助産師 助産と赤ちゃんの命がけ
で産み、生まれる、産む、産む者の命を
大事にする意識に注目する。産科医の勤務場
高。医療や介護は現場の必要の道具で支え
ら



東京新聞2014年11月22日付

私たちは

ここを見る

いのちは地球より重い

松井英介

あれよあれよという間に衆院は解散し12・14投開票に向かって走りだしました。総選挙にかかる費用は700億円、有権者1億人一人当たり700円の税負担。それに先立つ沖縄県知事選では、辺野古に新たな米軍基地は作らせないと訴えた翁長雄志さんが過半数を獲得、仲井真弘多現知事に大差をつけて当選しました。沖縄のジュゴンに残り3頭と絶滅寸前。このジュゴンと豊かな海を守るために、人びとは翁長雄志さんに一票入れたのです。それでもジュゴンの海に巨大なコンクリートの壁＝米軍滑走路を作るため杭打ちを強行すると、自民党公明党は息巻いています。

「母親と赤ちゃんは命がけて産み、生まれる。だから、候補者の命を大切にすることを意識に注目する」。豊島区の助産師・中島かおりさんの言葉です（東京新聞11月22日付）。

東北関東をはじめ日本列島全体を人工放射性物質で汚染し、次世代にいのちの危機をもたらした日本政府と東電。人類史上もっとも深刻な原発大惨事解決の見通しが全く立たないまま、自民党公明党は、川内原発（鹿児島）を再稼働させ、新たに大間原発（青森）を新規稼働させるとは！？。

福島市や郡山市など東北新幹線が走る中通りには、チェルノブイリ法が住んではいけないと定めた5mSv/年以上の地域が広がっています。その汚染された地に、次世代を住み続けさせる日本政府と東電。その東電を、日本政府は何兆円もの税金で優遇。アベノミクスで笑いの止まらない日本巨大企業上位30社の第7位に、東電はランクされているのです。3.11大惨事で降3年9ヶ月、次世代のいのちを守るために、自民党公明党政府はいったい何をやってきたというのでしょうか。

生まれ来るいのちを粗末にははいけません。子どもたちは、置かれた社会的経済的環境によって大きく左右されます。科学技術の急速な進歩・発展は、便利さと同時に有害化学物質とそれによる健康障害をもたらし、人工放射性物質が追い討ちかけました。松井和子の本がやっと出版の運びとなりました。

推薦の言葉：

「著者は、障害のある子どもたちの教育に携わってきました。そこで出会った子どもの姿を描き、自分の気持ちを述べています。著者のこころが伝わってきて、こちらのこころも温かくなります。多くの人に読んでいただきたい本です」。

高谷 清（小児科医 びわこ学園医療福祉センター草津・前園長）。



松井和子著「私の出会った子どもたち」
(2014)日之出印刷出版事業部